

外来医療体制整備計画の概要について

- 今冬、新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの同時流行が懸念されることから、高齢者等重症化リスクの高い方を守りながら通常医療を確保するため、県医師会等関係機関と協議の上、新たに「外来医療体制整備計画」を策定いたしました。

I. 診療・検査医療機関をはじめとする外来医療体制の整備

- ▶ 重症化リスクの高い方（高齢者、基礎疾患を有する方、妊婦等）に適切な医療を提供するため、外来医療体制を一段と強化。

<需要の推計>ピーク時の1日当たり患者数等を推計。[厚生労働省試算式から]

患者数 (新型コロナ+インフル)	健康FUCへの 登録見込者数	発熱外来等 受診見込者数
4,665人(2,513人+2,152人)	373人	4,295人

<供給の強化>県内の1日当たり診療可能人数

	現診療能力 A	強化分 B	最大診療能力 C = A + B
平日	5,411人	+ 1,091人	6,502人
発熱外来等	3,985人	+ 764人	4,749人
電話診療・ オンライン診療	1,426人	+ 327人	1,753人
土曜日	3,938人	+ 869人	4,807人
日曜・祝日	1,203人	+ 357人	1,560人

年末年始に向けた対策

- (1) 「臨時・発熱外来センター（仮称）」の開設
- (2) 県内3圏域における「検査キット」の臨時配布
- (3) 「とくしま健康フォローアップセンター」の体制強化

II. 健康フォローアップセンターの体制の整備等

- ▶ 重症化リスクの低い方が安心して自宅療養をするため、必要な環境を整備。

- 自己検査による陽性者の登録可能件数

200人/日



最大400人/日

(※年末年始 最大1,200人/日)

- ・ 自己検査による陽性者の診断・登録スタッフの増強等

- 体調悪化時等の相談対応可能件数

600人/日



最大720人/日

- ・ 体調悪化時等の相談対応スタッフの増強等

<外来医療体制の強化分の内容>

- 診療・検査協力医療機関協力のもと、対面診療の更なる強化を図る一方、合わせてオンライン診療の強化により最大診療人数が増加。
- 診療時間の拡大、診療日数の拡大、かかりつけ患者以外への対応等を組み合わせ。このほか、県医師会、県薬剤師会、県看護協会の協力を得て、「臨時・発熱外来センター（仮称）」を開設（年末年始の診療）。